

## 中小企業経営者が知っておきたいデザイントレンド

2020年に向けて大きく変貌しつつある国内市場、特に東京のビジネス環境は激動の時代を迎えています。昨年発表された「デザイン経営宣言」を受けて、中小企業が成長していくためには今、何をすべきか。近年、注目を集めているデザインに関するトレンドを紐解き、探っていきます。

連載第1回

### 新たな価値を生み出すツール 「経営デザインシート」

#### TBDAで企業とデザイナーのワークショップを実施

— 2018年に内閣府が発表した「経営デザインシート」は、企業経営の現在を明確にし、将来の成長に向けた価値を創出するツールとして注目されています。廣田尚子さんが審査委員長を務める「東京ビジネスデザインアワード(TBDA)」でも導入されました。

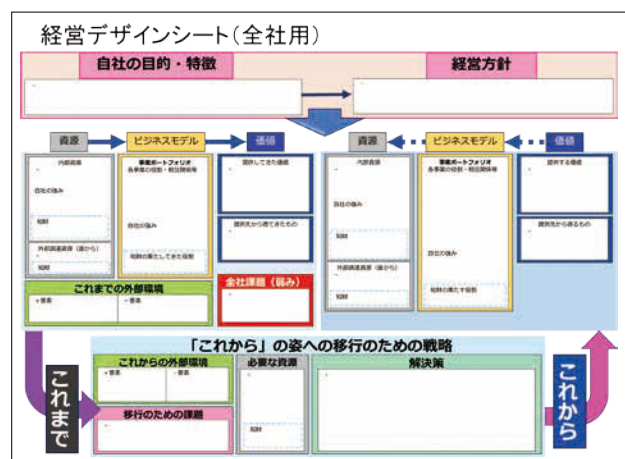
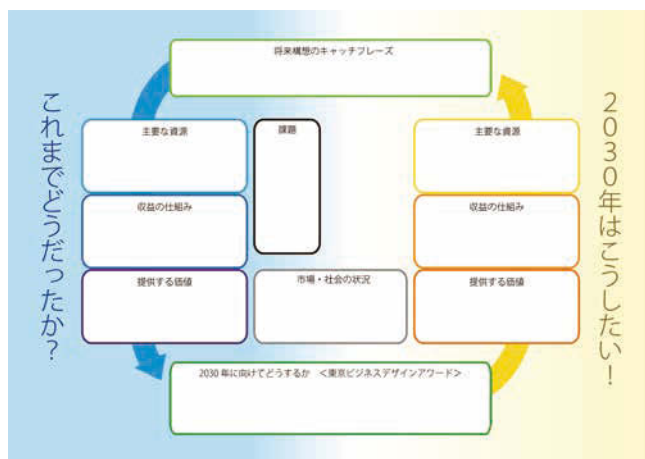
廣田: TBDAでは、デザイナーと企業が初めて対面する場で、「経営デザインシート」を活用したワークショップを行いました。あらかじめ、「これまではどうだったか?」と「2030年はこうしたい!」という2つの項目を柱にした簡易版のシートを作成し、デザイナーと企業が対話しながら埋めてもらいました。目的は記入することですが、立場が違う人が集まって意見交換することで、情報共有ができて、これまであいまいになっていたことが明確になるというプロセス自体に価値があるシートだと思っています。

— 確かに、簡易版はシンプルな内容で記入しやすそうですね。

廣田: 付箋をたくさん用意して、最初は自己紹介をしながら、ひとつの項目を10~15分くらいに区切り、話し合いながら箇条書きで記入してもらいました。企業とデザイナーが質問と答えをやり取りする中で、現状や会社の理念、将来の方向性などが共有できたようです。非常に盛り上がっているチームもありました。実際に、協業を始める前にお互いをよく知ることができて、プロジェクトが動き出してからスムーズに進めることができたと感じています。

— 今回、このようなワークショップを行ったことで、TBDAの最終提案(プレゼンテーション)に変化はありましたか?

廣田: 今年はどの提案もレベルが高かったと感じています。単に商品やデザインの説明ではなく、企業がどう成長していくかを見据えた提案になっていて、明らかに協業した結果だとわかる内容に変化していました。それは、デザイナーはデザインだけ、



(左)実際にTBDAワークショップで使われた「経営デザインシート」(簡易版)

(右)「経営デザインシート」は、将来を構想するための思考補助ツール。具体的には、企業が環境変化に耐え抜き持続的成長をするために、自社や事業の存在意義を意識したうえで、これまでの姿を把握し、長期的な視点で在りたい姿を構想して、今から何をすべきかの戦略を策定するためのフレームワークとして活用できる。

フォーマットや使用実例等については、下記WEBサイトからダウンロード可能。

[https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/keiei\\_design/index.html](https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/keiei_design/index.html)



東京ビジネスデザインアワード (TBDA) とは、都内ものづくり中小企業の既存の技術や素材から新しい可能性を見出し、デザイナーならではの視点やアイデアで新しいビジネスを生み出す、東京都主催のデザイン・事業提案コンペティション。2019年度の開催で8回目となる。

6月21日(金)まで参加企業を募集中。

<https://www.tokyo-design.ne.jp/award.html>



「経営デザインシート」を活用したTBDA受賞者向けワークショップの様子

企業は経営だけと、自分のテリトリーを事前に決めてしまっていた殻のようなものが打ち破られて、お互いがハッピーになるために何ができるかと歩み寄った結果ではないでしょうか。

### 「デザイン経営マインド」がイノベーションを生み出す

— 「経営デザインシート」は、他にどのような使い方が考えられますか？

**廣田:** TBDAでは、経営者と外部デザイナーで行いましたが、企業内の経営者と開発部門、経営者と若手社員など、立場の違うメンバーでやってもいい。いろいろな意見を踏まえて記入することでビジョンが明確になりますし、情報共有のツールとしても効果的だと思います。しかも1回で終わりではなく、半年ごと、年度ごとなど定期的を書いていけば、成長記録にもなります。そして、完成したシートをアーカイブ化すれば非常にいい資料になります。難しい書類ではないですから、日記を書くようなイメージで続けていけば、振り返りにも使えるし、

事業承継の資料としても有効です。まさに「ノウハウの見える化」で、客観的な資料として身近なツールになる可能性があると感じています。

— フォーマットとしてWEBサイトからダウンロードできるので、使いやすいですね。

**廣田:** 完成したらコピーして全社員に配布してもいいですし、会社全体や部署ごとに作成して貼り出してもいい。それを続けることによって企業内に「デザイン経営マインド」が醸成されていき、やがて企業文化として形成されていくでしょう。また、そのような企業からは、イノベーションが生まれやすくなるのではないのでしょうか。今回のTBDAに参加した企業の満足度は非常に高く、マッチング率も上がったんです。それは事業プロセスやビジョンを描く価値を理解してくださったからだと感じています。次年度も、このワークショップを行う予定ですし、よりよく活用していくためのアプローチを考えていきたいと思っています。

お問い合わせ 経営戦略課 事業革新係  
TEL:03-5822-7250 [design@tokyo-kosha.or.jp](mailto:design@tokyo-kosha.or.jp)

### profile



**廣田尚子** さん  
有限会社ヒロタ  
デザインスタジオ 代表

東京芸術大学デザイン科卒業後、GKプランニングアンドデザインを経てヒロタデザインスタジオ設立。プロジェクトマネジメントの視点からデザイン開発を行い、企業の持つ技術や素材の魅力を引き出して拡げる仕事を日用品のデザインを中心に幅広く展開。中小企業との協働も多く、さまざまな地域でデザイン導入の心構えや、プロセスについての講演やアドバイスをを行う。女子美術大学 芸術学部 デザイン・工芸学科教授。

### 第1回 コラボマッチング参加企業募集中!

デザイン事務所やデザイン系大学に依頼したい案件を持つ中小企業の皆さまと、優れた提案力を持つデザイナーとのマッチング会を行います。参加企業募集中です。

\*6月28日(金) 締切  
詳細は公社WEBサイトをご覧ください。



<http://www.tokyo-kosha.or.jp/support/shien/design/matching.html>

